

第2次福井市水産業振興プラン（素案）【概要版】

1 計画策定の趣旨

近年の水産業を取り巻く環境は依然として厳しく、気候変動に伴う海洋環境の変化、漁獲量の減少や魚価の低迷・物価高騰による漁業所得の減少、漁村地域の人口減少や漁業者の高齢化等による担い手不足、水産物消費の調理食品・外食への移行等による魚食文化の希薄化や若年層の魚離れなど、課題が山積している状況にある。

一方で、養殖業の成長産業化に向けた民間事業者の新規参入、「海業」による漁村の活性化など、前プラン策定から5年間で生じた新たな動きにも対応していく必要がある。

そのため、前プランに基づくこれまでの取組の成果を検証し、本市水産業における諸課題や新たな動きに対応していくため、今後の本市水産業振興の総合的な指針となる新たなプランを策定する。

2 計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

3 福井市の水産業振興にかかる現状と課題

水産業を取り巻く新たな情勢

- ▶ 気候変動に伴う海洋環境の変化
- ▶ 物価高騰等に伴う漁業経営への影響
- ▶ 北陸新幹線福井開業・中部縦貫自動車道の整備
- ▶ 国や県の新たな水産業施策
- ▶ SDGsへの対応

福井市の水産業の課題

- ▶ 漁獲量・漁業生産額の低迷
- ▶ 漁業所得の減少
- ▶ 漁業者の減少・高齢化

4 目指す将来像と施策の方向性

基本理念

「元気で持続可能な稼げる水産業の実現」

基本方針(目指す姿)

- I 持続可能な収益性の高い漁業の実現と漁業経営基盤の安定
- II 担い手の確保・育成・定着と漁村の活性化
- III 水産物の付加価値向上と地魚の魅力発信

施策の方向性

基本方針の実現に向けて、計画期間の5年間に取り組むべき「施策の方向性」については、右表の9項目とし、そのうち以下の4項目を「特に強化すべき事項」として、新たな施策に取り組む。



5 基本方針実現のための施策

□：継続 ■：新規 ★：新規(強化事項)

基本方針 I 持続可能な収益性の高い漁業の実現と漁業経営基盤の安定 【施策の方向性】

(1) 水産資源の維持	□つくり育てる漁業の推進 □越過中間育成施設の利活用 □淡水魚放流による水産資源の増大 □海底耕うんによる漁場の底質改善 □海岸・河川清掃による漁場環境の保全 ■藻場の造成・保全活動の推進	指標(年間)	R6実績	R12目標
		放流魚種数	4種	4種
強化 (2) 漁業所得の向上	□「ふくい型養殖」の推進 ★養殖事業の多角化・成長産業化 □スマート水産業勉強会の開催 □スマート水産業の導入促進	指標(年間)	R6実績	R12目標
		漁業生産額	307百万円	320百万円
(3) 漁業経営基盤の安定	□漁協の経営安定化 □水産施設の計画的な更新 ■漁協合併構想への対応 □漁船機器等の更新・導入 ■持続的な小型漁船漁業の推進	指標(累計)	R6実績	R12目標
		漁船機器等の更新・導入件数	9件	9件

基本方針 II 担い手の確保・育成・定着と漁村の活性化 【施策の方向性】

強化 (1) 担い手の確保・育成・定着	□漁業就業支援フェア等への出席 ★短期滞在型漁業就業体験事業の実施 □「ふくい水産カレッジ」の受講促進 □U・エターンによる漁業就業と移住・定住の促進 □個人漁船漁業への就業促進 ★定着に向けたサポート体制の構築 ■様々な働き方の推進 □水産業界全体の人材の確保・育成	指標(累計)	R6実績	R12目標
		新規就業者数	6人	7人
(2) 漁港施設の整備	□老朽化した漁港施設の計画的な改修 □漁港の統合・漁港機能の集約化 □漁港施設の有効活用 □被災した漁港施設等の早期復旧	指標(累計)	R6実績	R12目標
		漁港施設の改修箇所数	9箇所	9箇所
強化 (3) 漁村の活性化	■こども漁業体験活動の促進 □漁村地域で行うイベントの促進 □北陸新幹線福井開業による都市圏と漁村との交流 ★「海業」の推進	指標(累計)	R6実績	R12目標
		こども向けの漁業体験活動回数	12回	15回

基本方針 III 水産物の付加価値向上と地魚の魅力発信 【施策の方向性】

強化 (1) 水産物の付加価値向上	□高度な活締め技術等の普及 □地魚ブランドの「見える化」 ■高鮮度出荷や需要に応じた出荷体制の確立 ★「原材料」のブランド化 ■市場で生まれる「ふくいサーモン」事業の推進	指標(累計)	R6実績	R12目標
		ブランド化に向けたPRイベント等の参加回数	2回	5回
(2) 地魚の魅力発信	■地魚の市内取扱店舗の拡大 □学校給食・料理教室等による魚食の普及 ■鮮魚直売会等による地魚のPR ■「さかなの日」を活用した地魚の消費拡大 □「近海今朝とれ市」のPR	指標(累計)	R6実績	R12目標
		「さかなの日」に合わせた魚食普及の取組件数	—	5件
(3) 流通・販売の促進	■水産バリューチェーンの構築 ■消費者ニーズに応じた水産物の提供 ■新たな交通網を活かした流通体制の構築 □ECサイトを活用した水産加工品の販売促進	指標(年間)	R6実績	R12目標
		ECサイトによる水産加工品販売額	5.5百万円	6.5百万円